

日教振第119号
令和3年12月20日

日本語教育機関等設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎
(公印省略)

令和3年度生活指導担当者(初任)研修の実施について(ご案内)

当協会の運営につきましては、日頃からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における生活指導担当者の能力向上を図るため、平成14年度から標記の研修を実施しております。今年度も初任の生活指導担当者の方を対象にして、下記の通り研修を開催することといたしました。

つきましては、貴日本語教育機関等の生活指導担当者(事務職兼務者、教務兼務者を含む。)で参加希望者がいる場合は、**令和4年1月21日(金)**までに参加申込フォームからお申込みくださいますようお願いいたします。

記

1 日時 令和4年2月10日(木) 10:00~17:10

2 実施方法 オンデマンド形式での講義動画視聴
Zoomによるオンライン集合研修(2月10日)

3 定員及び参加要件等

(1) 定員70名程度とします。推薦は、1校につき2名までとします。

(2) 参加者は次の要件を満たす必要があります。日本語教育機関又は大学等教育機関の現場において、実際に留学生の生活指導に携わり、原則3年以内の者。

※コロナ禍の影響により、経験年数に実務経験が伴わない場合を考慮し、今回は経験年数5年以内まで参加対象とします。

4 参加費

維持会員及び準会員機関	8,800円(税込)/1人当たり
その他の教育機関	17,600円(税込)/1人当たり

※参加費は、事前振込とし、参加者の決定通知にてご請求いたします。

5 申込方法

参加申込みフォーム<<https://forms.gle/vjYNv4MwDpyjf4N6A>>からお申し込みください。

※円滑な受付のため、webでのお申し込みにご協力ください。Webでのお申し込みが難しい場合は、EメールまたはFAXでのお申し込みも受け付けます。

※申し込み受付け後、3日以内(土日祝日除く)に、Eメールで「参加申込確認」を送信します。メールが届かない場合は、受付されていない可能性がありますので、事業部宛てご連絡ください。

6 日程

別紙のとおり

7 生活指導担当者研修専門委員

委員長 志村 信生（（学）石川学園 横浜デザイン学院国際センター長）

委員（氏名五十音順）

安部 良介（広島YMCA専門学校専任講師）

荒木 俊弘（麻生外語観光&製菓専門学校国校交流センター長）

石鍋 梨恵（開成アカデミー日本語学校兵庫川西校校長）

正能 志保（新宿平和日本語学校事務長）

鈴木 えみ（大阪YMCA学院校長）

田村 源基（さくら国際言語教育学院代表理事）

中西 郁太郎（青山スクールオブジャパニーズ校長）

丸山 茂樹（（一財）日本語教育振興協会理事）

8 受講証明書

下記の要件を満たした受講者には、受講証明書を発行いたします。

- (1) 申込者本人が参加していること。
- (2) 研修中に行う理解度確認テストで8割以上正解すること。

9 参加者の決定等

参加者については、後日お知らせします。参加費のお支払方法についても、あわせてお知らせします。

10 Zoon 参加について

- 研修へのご参加には、予め ZOOM に接続できる環境を各自でご準備ください。

パソコンで ZOOM を利用する場合は、ZOOM アプリをダウンロードしなくてもブラウザから参加できます。その場合は、Google Chrome、Firefox、Chromium Edge のいずれかのブラウザをご利用ください。

スマートフォン又はタブレットで ZOOM をご利用する場合は、事前にアプリをダウンロードしていただく必要があります。

（ダウンロード先 URL <https://zoom.us/download>）

- 当日は、必ず ZOOM の事前接続テストを実施し、視聴可能であることをご確認ください。
- 協会では個別の環境に起因するトラブルについて、サポートはいたしかねますのでご了承ください。
- ZOOM の参加 ID・URL 等は、追って参加者宛てお知らせします。

ご参加に際しての注意事項

本研修の録音、録画、保存は禁止します。

参加 ID, URL 等を参加者以外に共有すること、参加者以外の方が研修を視聴することは禁止いたします。

【お問い合わせ先】 事業部： 小野寺陽子・渡部

TEL： 03-6380-6557 FAX： 03-6380-6587

Eメール：nisshinkyu2@gmail.com URL：www.nisshinkyu.org

令和3年度生活指導担当者(初任)研修日程

【オンデマンド形式での講義動画視聴】

以下の講義動画2本を、2月10日の研修当日前に必ず視聴してください。

視聴方法については、参加者宛て後日お知らせします。(1月下旬～視聴可能予定)

	研 修 内 容
オンデマンド講義	①講義「生活指導とは」 講師:日本語教育振興協会理事 丸山 茂樹
	②講義「生活指導と関連法規」 講師:日本語教育振興協会専務理事 高山 泰(元東京入国管理局長)

【2月10日(木)】

時 間	研 修 内 容
9:20～9:50	受付
10:00～10:10(10)	開会挨拶 日本語教育振興協会理事長 佐藤 次郎 趣旨説明 実行委員長 志村 信生
10:10～10:50(40)	① オンデマンド講義についての質問や解説 講師:日本語教育振興協会理事 丸山 茂樹 日本語教育振興協会専務理事 高山 泰(元東京入国管理局長)
10:50～11:50(60)	② 講義「ウィズコロナ/ポストコロナ、新たなオリエンテーションの形を考 える2022」 進行:青山スクールオブジャパニーズ校長 中西 郁太郎
11:50～12:00(10)	質疑応答

12:00～13:00(60) 休憩

13:00～14:00(60)	③ 講義「生活支援論」 講師:横浜デザイン学院国際センター長 志村 信生
14:00～15:00(60)	④ 講義「就職を見据えての進路指導について_ポストコロナ」 講師:麻生外語観光&製菓専門学校国校交流センター長 荒木 俊弘 開成アカデミー日本語学校兵庫川西校校長 石鍋 梨恵
15:10～16:40(90)	グループワーク「ケーススタディ19」
16:40～17:00(20)	理解度確認テスト
17:00～17:10(10)	閉 会

○日程は変更になる場合があります。

○別紙「令和3年度生活指導担当者研修のねらい」参照

令和3年度生活指導担当者(初任)研修のねらい

全体のねらい

2020年より新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、留学生は新規で入国できない状況が続いております。この11月に水際対策の緩和措置が発表されたものの、オミクロン株の影響により、引き続き受け入れ制限の状況が続いております。今後日本語教育機関はどのように存続していけば良いのか、その為には今どのような準備をする必要があるのか、我々は答えの見えない問題に突き当たっています。一方日本社会に目を投げると、国内の少子化はより進み、ポストコロナ時代において外国人材がより脚光を浴びる状況が予想され、今後生活指導担当者の業務範囲は日本語教育機関のみならず地域の外国人材へのサポートなど多岐にわたると考えられます。

このような先が見えない時代(VUCA時代)の中、必要なスキルを改めて学び、独力で業務遂行ができるようになることを目指していただきたいと思います。次年度以降もこの研修を継続してご参加いただくことで、生活指導担当者の業務領域の基礎知識がカバーできるように進めていく予定です。

今年度の研修も昨年度に引き続き、初任の方を対象に非対面方式で実施いたします。今年度は、事前学習としてオンデマンドによる講座2つ(各40分程度)を受講して頂き、その上で、ZOOMによるオンライン4講座により業務上の基礎知識から重要度の高い領域(オリエンテーション、生活サポート、就職や進学)を1日で学びます。つづいてそれらに関連したケーススタディをグループワークで学んでいただく構成になっております。今回もできるだけ質問を受けつけ、お答えしたいと考えております。

オンデマンド講義①「生活指導とは」

生活指導担当者には、学生募集から進路指導まで幅広い業務領域があります。まずは自分の業務領域・業務内容を理解する前の、生活指導担当初任者としての心構えや生活指導において留意しておくべきことについて研修前にオンデマンド(約40分)で勉強していただきます。

オンデマンド講義②「生活指導と関連法規」

外国人材の生活指導を行うにあたっては、まず我々自身が関連法規に精通していなければなりません。入管法や告示基準、労基法等を我々の業務に絡めてオンデマンド(約40分)で勉強していただきます。

講義①オンデマンド講義についての質問や解説

事前にオンデマンド①、②で講義を受けた上で質問、疑問をご準備いただきます。講師より重要なポイントについての詳細な解説及び事前質問の具体的な解説をさせていただきます。

講義②「ウィズコロナ/ポストコロナ、新たなオリエンテーションの形を考える2022」

生活指導は、効果的なオリエンテーションが非常に重要です。ウィズコロナ/ポストコロナを踏まえ、委員が勤務している学校で行っている具体的な事例発表を通して、新しいオリエンテーションのありかたを考えていきます。

講義③「生活支援論」

外国人の人権についての報道が大きくなされています。生活指導担当者は、どうしても在籍学生をどのように管理するのかという考え方にとらわれてしまいます。どのように外国人材、留学生を支援すべきか、教員、生活指導担当者等の連携を行う中で、ポイントになる考え方を具体的事例から学びます。

講義④「就職を見据えての進路指導について_ポストコロナ」

留学生の中では、長期にわたり日本で生活したいというプランを持って来日し、学び、就職を希望している方が多数います。最近では専門学校に進学する学生も増え、また新たに特定技能という在留資格も登場しています。日本語教育機関に在籍する留学生が高等教育機関に進学したものの、卒業後に「就労」の在留資格を取得できない事態を避けるために、今回は留学生が日本語教育機関や高等教育機関を卒業後に就労できる分野、また専門学校の状況を中心に進路指導に必要な知識を学びます。

グループワーク「ケーススタディ19」

留学生の身の回りに起きる様々な問題について何を根拠にどのように指導していけばよいのか、グループに分かれ、話し合いを行い、その解決方法を考えます。研修終了後に、ケーススタディの解答例についても配布いたします。

理解度テスト・アンケート

生活指導担当者研修会は、研修終了後修了証を発行する研修です。講義とグループワークを受け、最後に理解度テストを行っていただきます。

令和3年度生活指導担当者(初任)研修参加推薦書

令和 年 月 日

一般財団法人日本語教育振興協会理事長 宛て

会員番号 ※日振協会員校からご参加 の方のみご記入ください		代表者名	
機関名			
連絡担当者	TEL		
	氏名		
	E-mail(参加申込確認及び 参加決定通知送付先)		

標記の研修に下記の者を参加させたいので、推薦します。

記

1.参加希望者

推薦順位	1		2	
ふりがな				
氏名				
年齢 (R4.1.1現在)	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
主たる業務	<input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務		<input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務	
生活指導担当者としての 経験年数	年	月	年	月
事務職員としての 経験年数	年	月	年	月
教務職員としての 経験年数	年	月	年	月
※生活指導担当者とし ての通算経験年数 (R4.1.1現在)	年	月	年	月
Email(ZOOM参加ID・ URL・研修資料等送付 先)				

※(1)複数の職場に生活指導担当者として、勤務実態のある場合の通算年数とする。

※(2)経験年数に関しては、未経験の場合、「0」を記入すること。

令和4年1月21日までに事業部(Eメール nisshinkyo2@gmail.com)宛て送付願います。